

(単位:千円)

番号	事業名	予算書頁	本年度予算額	前年度予算額	説明
1	指定文化財管理費	284	22,170	21,072	鳥取藩主池田家墓所をはじめ、各種指定文化財の適正な保存管理事業及び公開事業に対して補助しており、今年度は25件指定文化財に対して補助を行います。
2	鳥取城跡保存修理事業費	284	30,998	22,398	鳥取城跡附太閤ケ平は、国指定文化財になって以後年次計画で保存修理事業を実施してきました。事業は、昭和18年の鳥取大震災等による城郭遺構の損傷部を中心に実施しています。実施箇所は、主に二の丸三階櫓、走櫓、菱櫓、天球丸等の山下丸の石垣、堀、石段等です。 平成22年度は、天球丸、楯蔵跡の環境整備の仕上げと事業報告書の作成、大手登城路中ノ御門の発掘調査を実施し、天球丸跡については、平成22年度で事業完了します。
3	円通寺人形芝居伝承施設管理費	284	812	646	円通寺人形芝居伝承施設では、無形民俗文化財円通寺人形芝居の伝承拠点施設として維持管理されており、人形芝居の一般公開及び伝承活動が日々行われており、今回放送設備の一部について更新を行います。
4	埋蔵文化財センター管理費	284	2,882	2,382	埋蔵文化財センターは、発掘調査で発見された出土品や発掘調査の記録保存・管理を行う施設です。 当該施設の運営補助金と今回小型除雪機を新規に購入します。
5	文化財調査費	284	16,769	24,695	各種開発事業に先立ち、遺跡の有無を確認するための発掘調査を実施し、開発事業との調整を図ります。 今年度の主たる調査予定地は、鳥取西道路建設予定地及び河原中核工業団地計画用地の事前試掘調査を実施します。 また、西大路土居遺跡から出土した銅剣の保存処理及びケースを作成します。(8ヶ所 約580㎡)
6	歴史民俗資料館管理費	286	668	487	市内3ヶ所に所在する歴史民俗資料館等の維持管理及び、資料収集、保管・展示を行うとともに、地域の民俗行事等の伝承、市民への体験学習の場として活用し、文化財保護と啓発に努めます。 (河原歴史民俗資料館、用瀬郷土歴史館、佐治歴史民俗資料館)
7	青谷上寺地遺跡管理費	286	1,206	1,103	青谷上寺地遺跡公園の遺跡の保護と景観の保全に努め、公園区域内の除草及び周辺で耕作されている水田への害虫発生予防対策等の保全管理を行います。
8	史跡栃本廃寺整備事業費	286	65,176	69,945	国史跡の栃本廃寺跡は平成16年までに指定地を含む16,649㎡の用地購入を実施し、憩いの場となるように史跡整備を行っています。 平成15年の基本計画策定後、この計画に基づいて平成20年度から整備工事に着手しており、平成23年度まで計画的に実施する予定です。 今年度は、寺域を区画する東側の溝や指定地外の四阿等の整備を行います。(指定面積:4,285㎡)、(工事面積:4,285㎡)
9	美歎水源地保存整備事業費	286	9,625	3,676	貴重な近代化遺産として平成19年に重要文化財に指定された「旧美歎水源地水道施設は、平成20年度に旧美歎水源地保存整備基本計画の策定と、緊急保護対策として建造物の覆屋の設置を行っています。 平成22年度は、建造物保存修復に向けて現況調査委託業務の実施、前年度から継続している覆屋の維持、広報・普及活動の一環としての特別公開を引き続き実施します。
10	埋蔵文化財体験・活用事業	286	482	902	多くの市民に地域の歴史等に興味・関心をもっていただくよう文化財愛護への高揚を図ります。 小学生を対象に考古学教室を開設し、本物の出土品に触れ、火起こしなどの体験学習をします。また、発掘調査によって出土した遺物等を多くの市民に見ていただくために移動展示や発掘調査の一般公開を行います。(予定:20校)
11	青谷上寺地遺跡展示館・青谷郷土館管理費	286	29,660	28,041	青谷上寺地遺跡展示館及びあおや郷土館の適正かつ円滑な管理を図るとともに、常設・特別展示の充実を図り、文化財への愛護啓発育成を図ります。 今年度は除雪機を購入し、来館者の利便性の向上を図ります。
12	歴史博物館管理費	292	198,018	198,337	鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理を図るとともに、常設・特別展示の充実を図り、文化財への愛護啓発育成を図ります。
13	因幡万葉歴史館管理費	294	35,347	36,874	鳥取市因幡万葉歴史館の適正かつ、円滑な管理運営を図るとともに、展示等を通じて文化財の愛護啓発を図ります。 また、隣接する国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理を行います。